

第99回

トラック運送業界の景況感（速報）

平成29年7月～9月期

平成29年7月～9月期の業況判断指数（日銀短観9月）は、製造業については生産が回復基調となり、また非製造業では個人消費が堅調であったことから、全体として緩やかな回復傾向をみせている。

こうしたなか、トラック運送業界の7月～9月期は、労働力の不足感は依然として高い水準で推移しているものの、「一般貨物」では輸送数量、営業収入、及び営業利益が改善し、また「宅配貨物」でも輸送数量の減少傾向はあったものの、運賃・料金が改善したことにより営業収入と営業利益が改善傾向を示した。そのため、景況感の判断指標は▲12.7となり、前回（▲19.2）から6.5ポイント改善した。

なお、来期の判断指標の見通しは、「一般貨物」「宅配貨物」「宅配以外」の全ての事業形態において、輸送数量が減少する見込みにあることや、労働力の不足感が強まる見込みから、今回から1.1ポイント悪化して、▲13.8となっている。

平成29年11月13日

公益社団法人 全日本トラック協会

1. 今回（平成29年7月～9月期）の状況

① 概況

平成29年7月～9月期におけるトラック運送業界の景況感は、「好転」とした事業者は17.9%（前回13.4%）、「悪化」とした事業者は29.0%（前回30.9%）で、判断指標は▲12.7となり、前回（▲19.2）から6.5ポイントの改善となった。

② 一般貨物

一般貨物では、輸送数量は「減少」とする事業者が25.0%、「増加」とする事業者が26.6%で、判断指標は▲0.6となり、前回（▲5.9）から5.3ポイント改善した。営業収入は「減少」とする事業者が27.6%、「増加」とする事業者が31.8%で、判断指標は2.0となり、前回（▲3.7）から5.7ポイント改善した。営業利益は「減少」とする事業者が32.0%、「増加」とする事業者が23.5%で、判断指標は▲12.3となり、前回（▲17.7）から5.4ポイント改善した。

③ 特別積合せ貨物

宅配貨物では、輸送数量は「減少」とする事業者が21.4%、「増加」とする事業者が32.1%で、判断指標は3.6となり、前回（4.2）より0.6ポイント悪化した。営業収入は「減少」とする事業者が28.6%、「増加」とする事業者が39.3%で、判断指標は0.0となり、前回（▲12.5）よりも12.5ポイント改善した。営業利益は「減少」とする事業者が32.2%、「増加」とする事業者が28.6%で、判断指標は▲14.3となり、前回（▲50.0）よりも35.7ポイント改善した。

宅配以外の特積貨物では、輸送数量は「減少」とする事業者が11.3%、「増加」とする事業者が47.2%で、判断指標は34.0となり、前回（5.1）から28.9ポイント改善した。営業収入は「減少」とする事業者が17.0%、「増加」とする事業者が49.1%で、判断指標は30.2となり、前回（23.1）から7.1ポイント改善した。営業利益は「減少」とする事業者が32.1%、「増加」とする事業者が32.1%で、判断指標は▲3.8となり、前回（5.1）から8.9ポイント悪化した。

④ 運賃・料金水準

運賃・料金水準は一般貨物7.4（前回1.7）と5.7ポイント改善、宅配貨物は67.9（前回▲4.2）と72.1ポイント改善、宅配以外の特積貨物は50.9（前回35.9）から15.0ポイント改善となっている。

⑤ 実働率等

実働率は▲0.5（前回▲7.7）と7.2ポイント改善、実車率は▲0.7（前回▲6.7）となり6.0ポイント改善となった。

雇用状況（労働力の過不足）は81.5（前回81.3）と0.2ポイント上昇し、不足感が高止まりしている。採用状況は▲8.2（前回▲8.1）で0.1ポイント減少し、所定外労働時間は▲12.0（前回▲12.1）と0.1ポイント増加している。貨物の再委託（下請運送会社への委託割合）は6.5（前回0.2）で6.3ポイント増加となった。経常損益は▲15.0（前回▲16.0）となり、1.0ポイント改善となった。

⑥ 規模別及び取扱い品目別、地域別

事業者の規模別では、大規模事業者は▲4.1（前回▲6.9）と2.8ポイント改善、中規模事業者は▲9.9（前回▲18.1）となり、8.2ポイント改善、小規模事業者は▲21.2（前回▲26.4）と5.2ポイント改善となっている。

一般貨物における主な取扱い品目別については、消費関連貨物は▲11.5（前回▲14.1）と2.6ポイント改善、建設関連貨物は▲9.4（前回▲31.2）と21.8ポイント改善、機械関連貨物は▲15.2（前回▲22.9）と7.7ポイント改善しており、その他貨物は▲17.4（前回▲18.5）と1.1ポイント改善している。

一般貨物について業界の景況感を地域別にみると、東北、関東、北陸信越、近畿、中国、四国、九州は水準を上げているが、北海道と中部は水準を下げている。

2. 今後（平成29年10月～12月期）の見通し

① 概況

平成29年10月～12月期の見通しについて、業界の景況感の判断指標は▲13.8で、今回から1.1ポイント下げる見込み。

② 一般貨物

一般貨物は、輸送数量、営業利益はほぼ同水準、営業収入は僅かに水準を下げる見込みである。

③ 特別積合せ貨物

宅配貨物は、輸送数量と営業収入は水準を下げるが、運賃・料金の水準が上がることなどにより営業利益はやや水準を上げる見込みである。

宅配以外の特積貨物は、輸送数量は水準を下げ、営業収入の水準がやや下がる一方、営業利益は水準が上がる見込みである。

④ 運賃・料金水準

一般貨物はほぼ同水準、宅配貨物は上昇、宅配以外の特積貨物はやや上昇の見込みである。

⑤ 実働率等

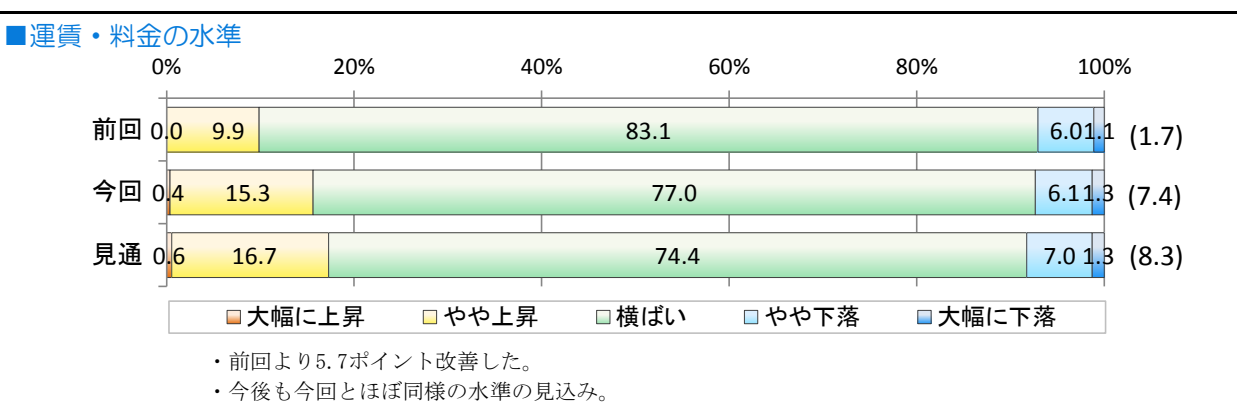
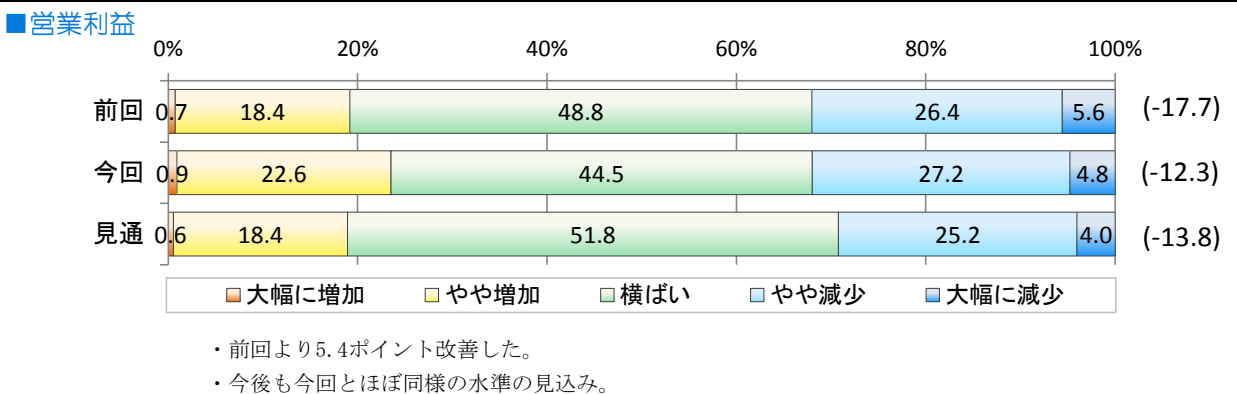
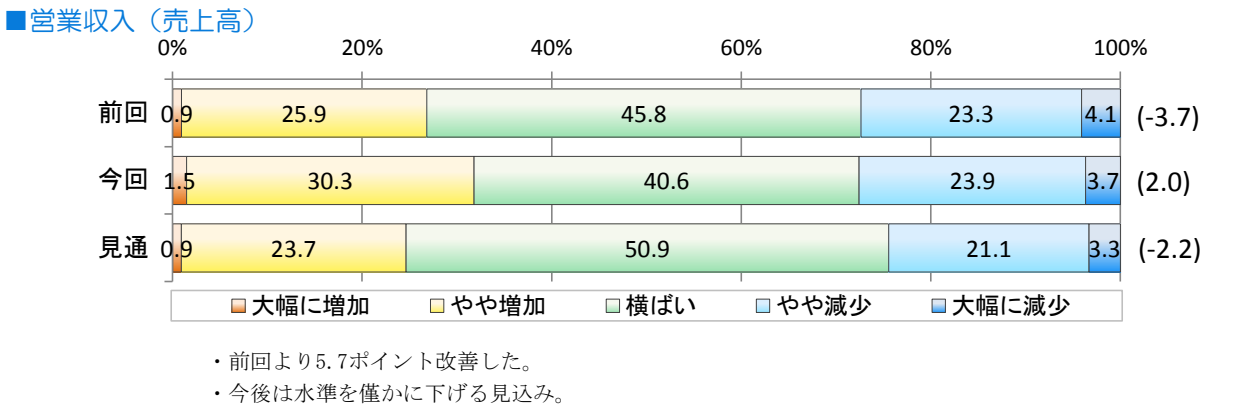
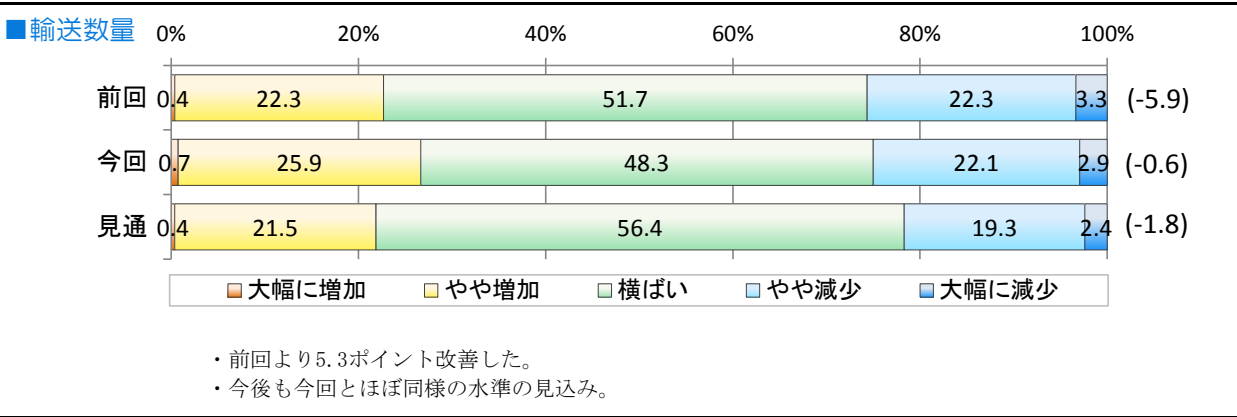
実働率、実車率はほぼ同水準の見込みである。雇用状況（労働力の過不足）は水準を上げ、不足感が強まる見込みである。採用状況は水準を僅かに下げ、所定外労働時間は水準がやや上がる見込みである。貨物の再委託（下請運送会社への委託割合）は水準を僅かに下げ、経常損益はほぼ同水準の見込みである。

⑥ 規模別および取扱い品目別、地域別

大規模事業者と中規模事業者は水準を下げ、小規模事業者は水準を上げる見込みである。

一般貨物における主な取扱い品目別では、消費関連貨物、建設関連貨物、機械関連貨物は水準をやや下げ、その他貨物は、同水準の見込みである。一般貨物における地域別では、東北、中部、中国、四国、九州は水準を下げ、北陸信越は同水準、北海道、関東、近畿は水準を上げる見込みである。

3. 一般貨物の概況



【調査の概要】

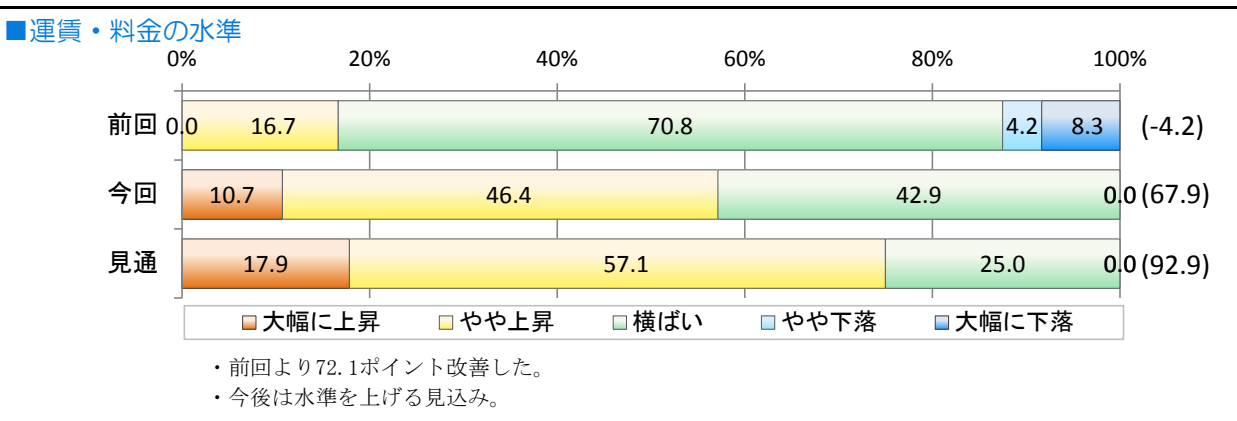
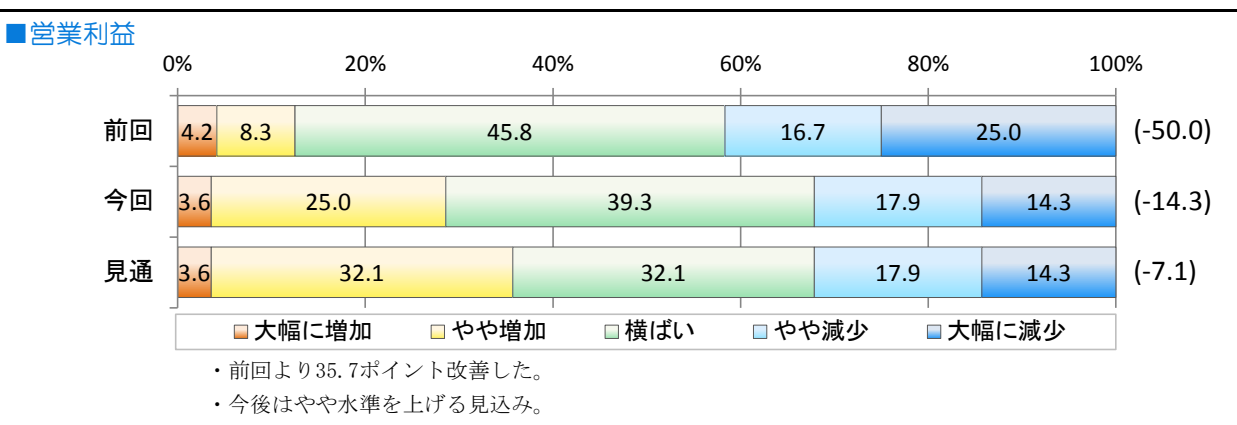
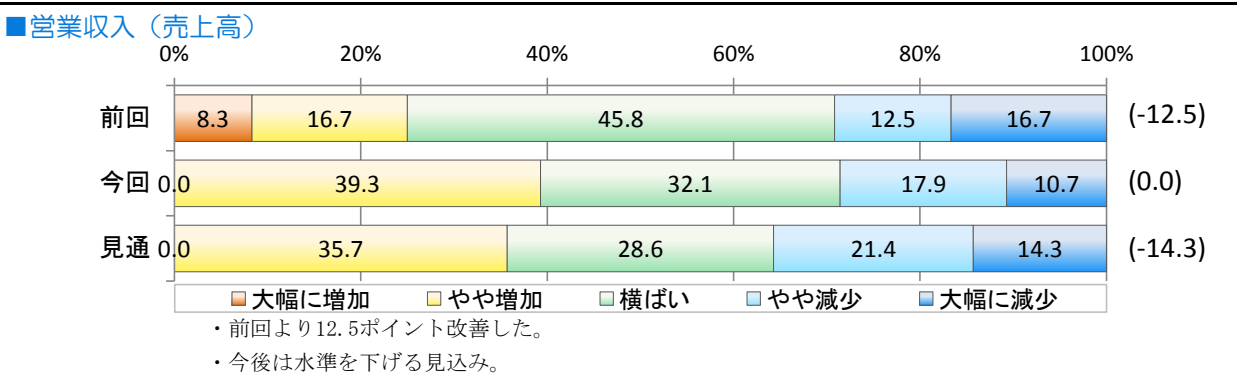
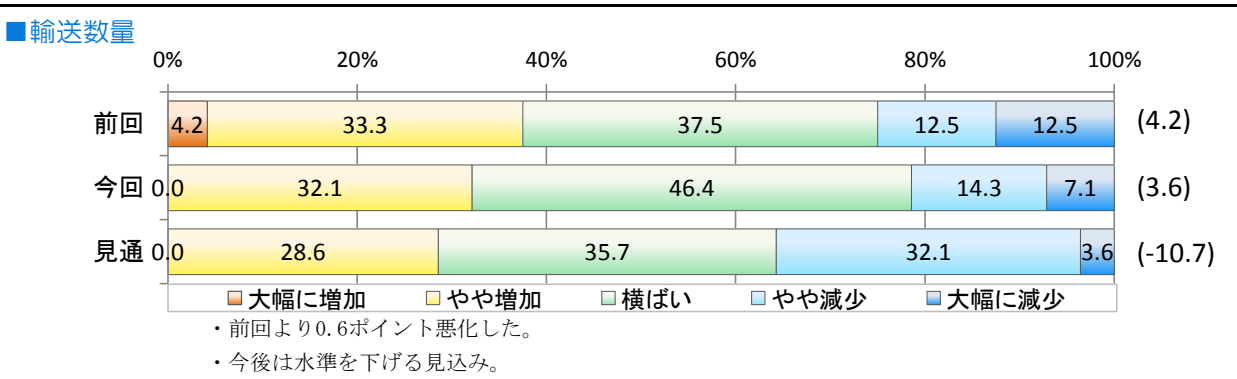
平成5年3月より開始、以降3カ月ごとに実施。第99回調査は、平成29年9月20日に、モニターに対して調査開始。平成29年10月27日回収分までを集計。

特積	一般	回答事業者全体
64	544	573

※一部回答事業者の重複あり

4. 特積貨物の概況

① 宅配貨物



(注1) 各グラフの上段は前回 (H29.4月～6月期) の状況、中段は今回 (H29.7月～9月期) の状況、下段は今後 (H29.10月～12月期) の見通しを示す。いずれも前年同期比を集計している。

(注2) 各グラフの構成比は四捨五入のため、合計が100にならない場合がある。

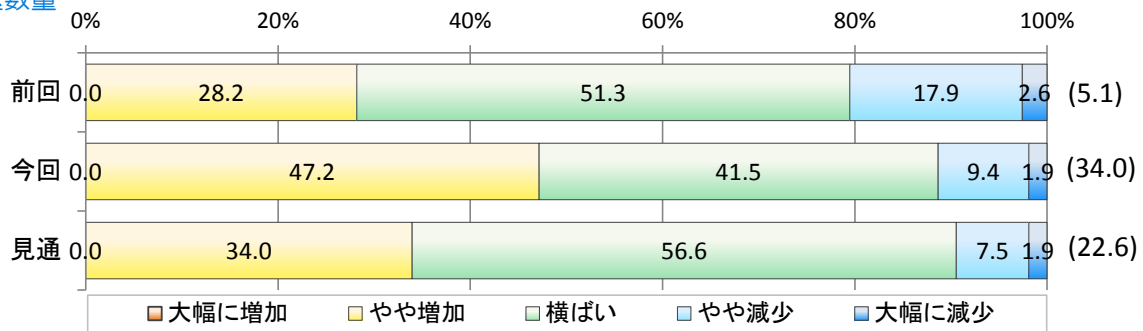
(注3) グラフ右のカッコ内は業況判断指標。指標は、各設問の回答に対し、大幅に増加・上昇・好転、労働力不足+2、やや増加・上昇・好転、労働力不足+1、横ばい0、やや減少・低下・悪化、労働力過剰-1、大幅に減少・低下・悪化、労働力過剰~-2の点数を与え、1事業者当たりの平均を100倍することにより算出している。

A (設問Aの回答者数) = a1+a2+a3+a4+a5 (設問Aの選択肢1～5の回答数の和)

指標 = $\{(+2 \times a1) + (+1 \times a2) + (0 \times a3) + (-1 \times a4) + (-2 \times a5)\} \div A \times 100$

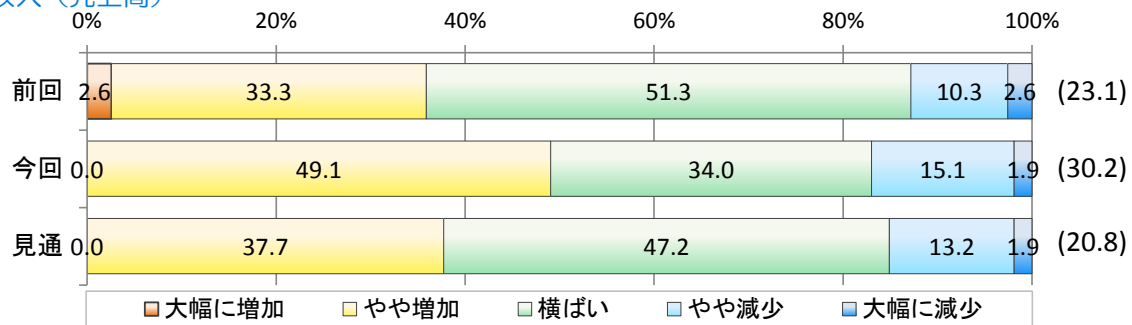
② 宅配以外の特積貨物

■ 輸送数量



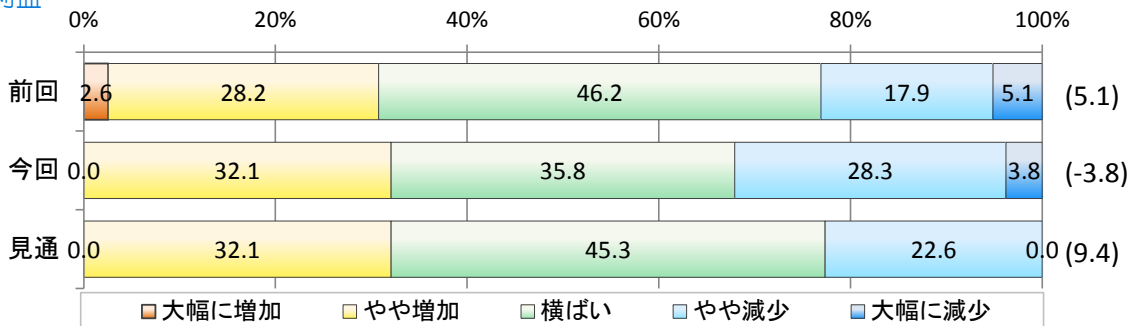
- ・前回より28.9ポイント改善した。
- ・今後は水準を下げる見込み。

■ 営業収入 (売上高)



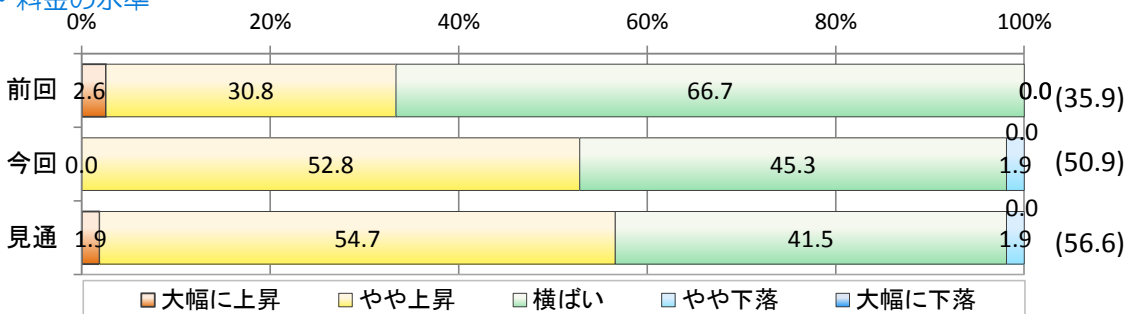
- ・前回より7.1ポイント改善した。
- ・今後は水準をやや下げる見込み。

■ 営業利益



- ・前回より8.9ポイント悪化した。
- ・今後は水準を上げる見込み。

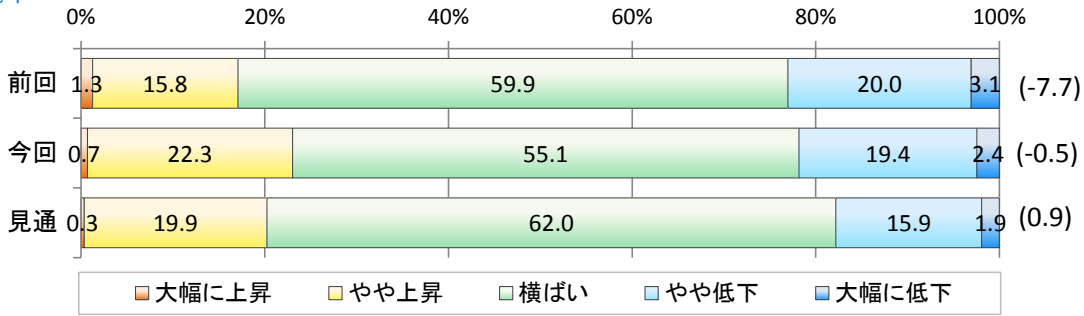
■ 運賃・料金の水準



- ・前回より15.0ポイント改善した。
- ・今後はやや水準を上げる見込み。

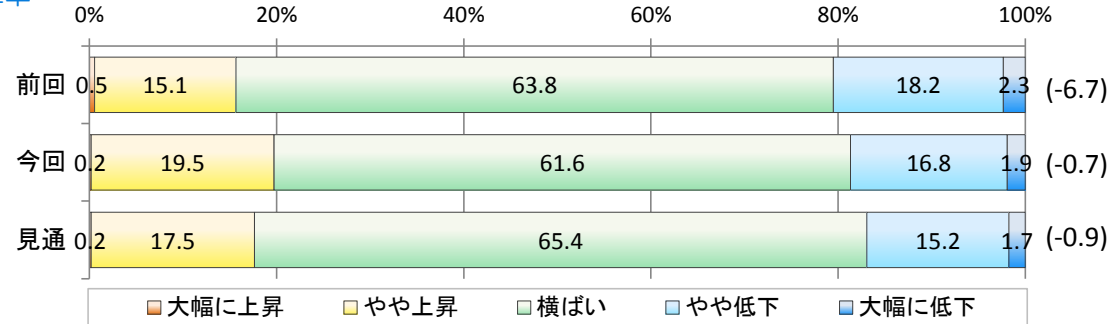
5. 共通の概況

■実働率



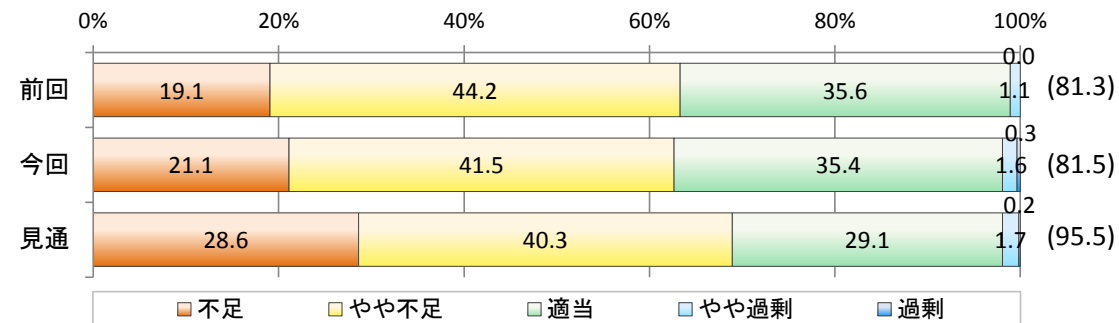
- ・前回より7.2ポイント改善した。
- ・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。

■実車率



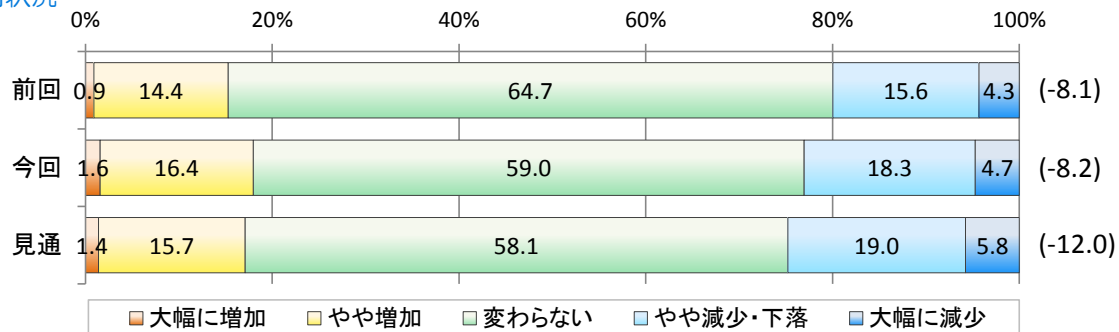
- ・前回より6.0ポイント改善した。
- ・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。

■雇用状況（労働力の過不足）^(注4)



- ・前回より0.2ポイント上昇した(不足感が強くなった)。
- ・今後は水準を上げる見込み。

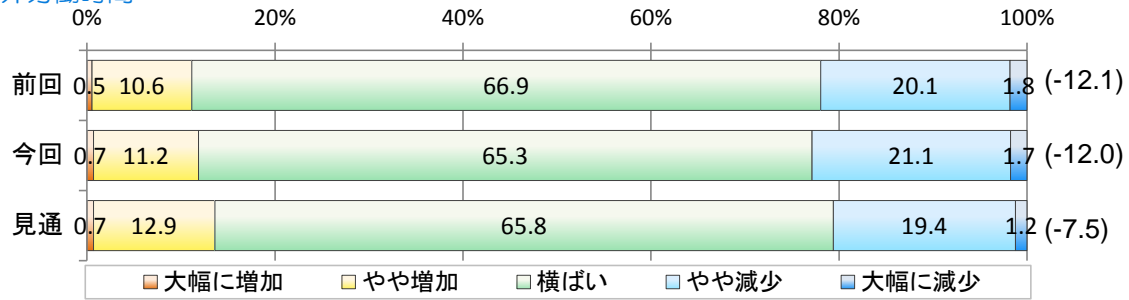
■採用状況



- ・前回より0.1ポイント減少した。
- ・今後は水準を僅かに下げる見込み。

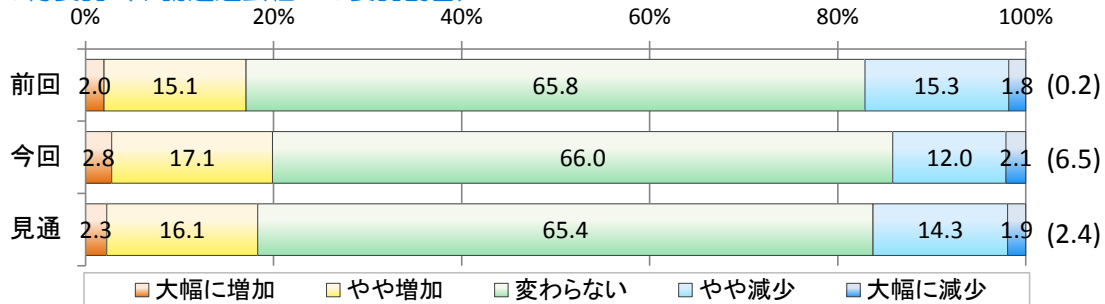
(注4) 雇用状況については、上段は前回(H29.4月～6月期)の状況、中段は今回(H29.7月～9月期)の状況、下段は今後(H29.10月～12月期)の見通しを示しているが、前回及び今回は前年同期比ではなく「その期の状況」を、見通しは「前年同期比の見通し」を質問している。

■ 所定外労働時間



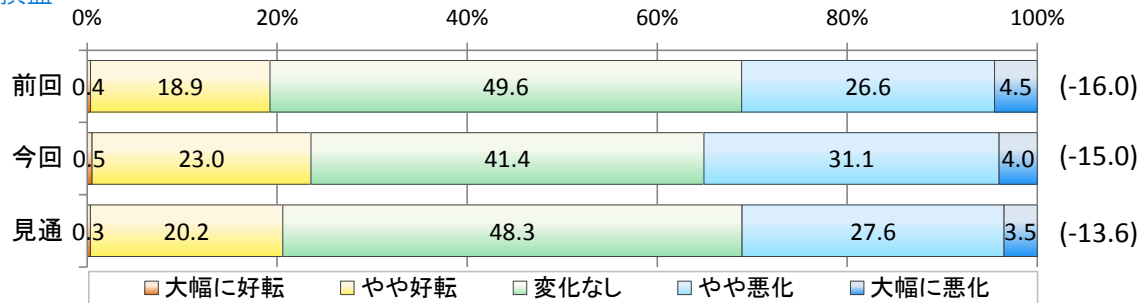
- ・前回より0.1ポイント増加した。
- ・今後はやや水準を上げる見込み。

■ 貨物の再委託（下請運送会社への委託割合）



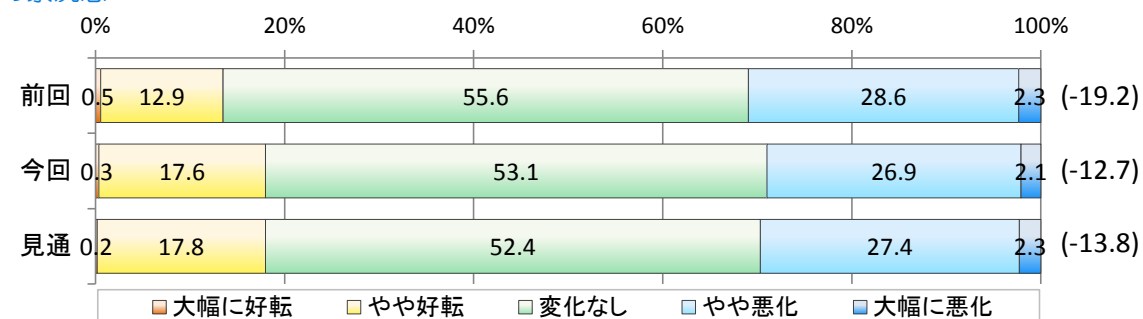
- ・前回より6.3ポイント増加した。
- ・今後は水準を僅かに下げる見込み。

■ 経常損益



- ・前回より1.0ポイント改善した。
- ・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。

■ 業界の景況感

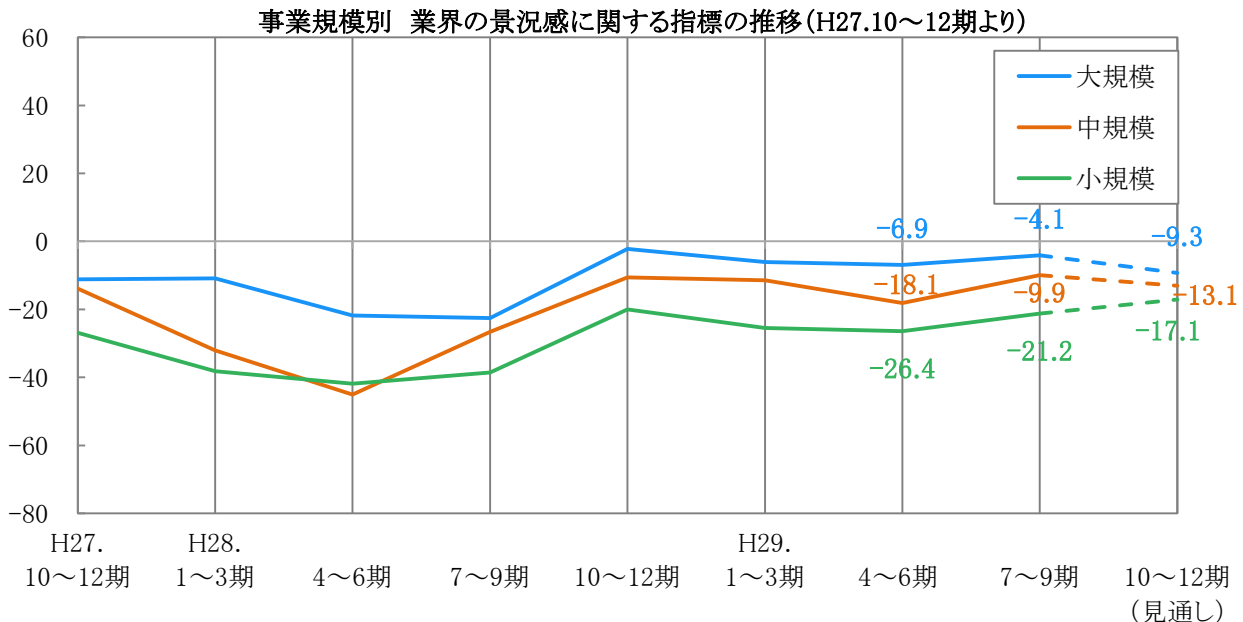


- ・前回より6.5ポイント改善した。
- ・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。

6. 事業者特性別の特徴

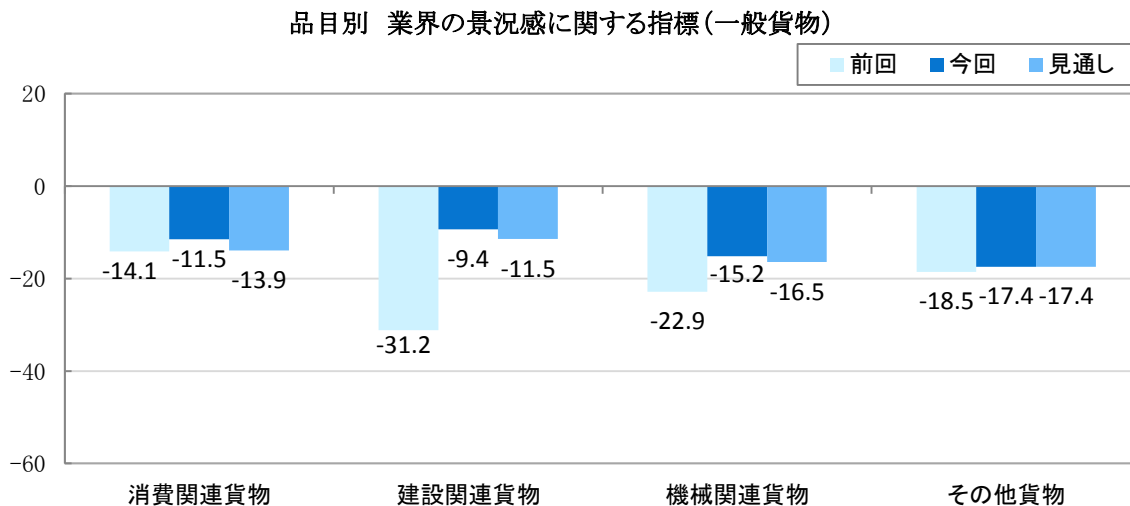
① 規模 (注5)

- ・事業規模別景況感は前回と比べ、大規模事業者、中規模事業者、小規模事業者とも水準を上げている。
- ・今後は大規模事業者と中規模事業者は水準を下げ、小規模事業者は水準を上げる見込みである。



② 品目 (注6)

- ・「消費関連貨物」を扱う事業者では、前回と比べ景況感の水準を僅かに上げており、今後はやや下げる見込みである。
- ・「建設関連貨物」を扱う事業者では、前回と比べ景況感の水準を上げ、今後は水準をやや下げる見込みである。
- ・「機械関連貨物」を扱う事業者では、前回と比べ景況感の水準を上げており、今後はやや下げる見込みである。
- ・「その他貨物」を扱う事業者では、前回と比べ景況感の水準を僅かに上げており、今後は同水準の見込みである。



(注5) 規模別分類

大規模事業者：101両以上 中規模事業者：21両以上100両以下 小規模事業者：20両以下

(注6) 品目別分類

消費関連貨物：農水産品、食料工業品、日用品など

建設関連貨物：林産品、砂利、砂、石材、建設用資材、窯業品（セメント等）など

機械関連貨物：電気機械（家電含む）、輸送機械（自動車等）など

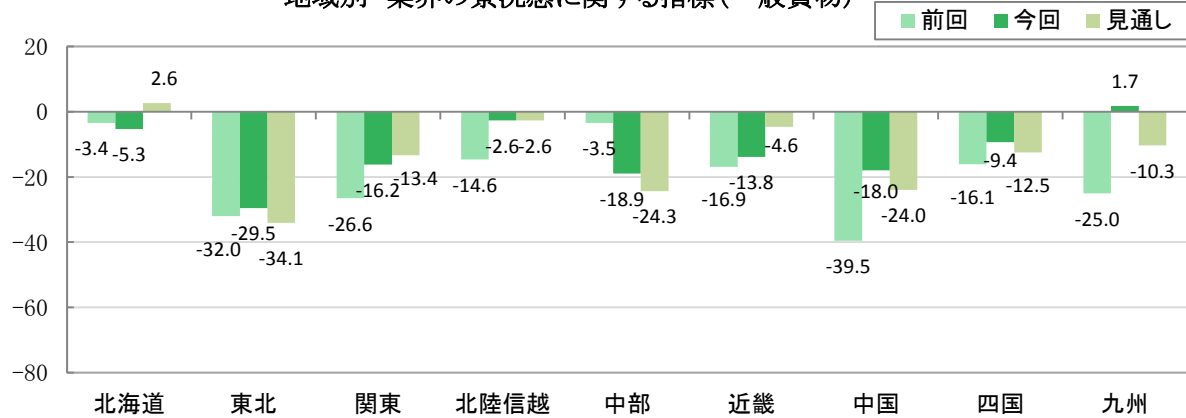
その他貨物：石炭、原油、石油、化学、紙・パルプなど

品目別業界の景況感に関する指標は、「一般貨物」の輸送品目について1位の回答を反映している。

③ 地域 (注7)

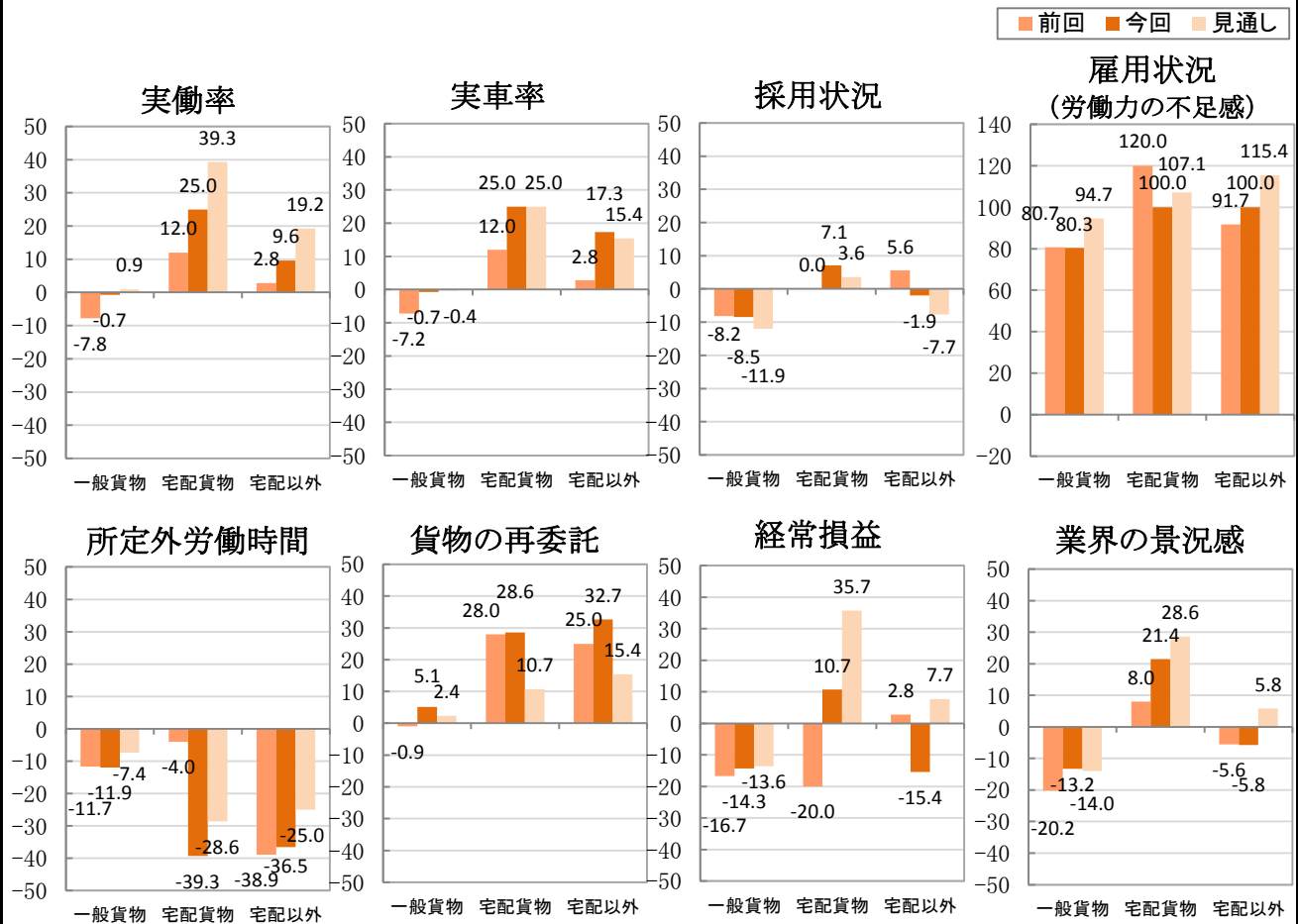
・一般貨物について業界の景況感を地域別にみると、東北、関東、北陸信越、近畿、中国、四国、九州は水準を上げているが、北海道と中部は水準を下げている。
 ・今後は、東北、中部、中国、四国、九州は水準を下げ、北陸信越は同水準、北海道、関東、近畿は水準を上げる見込みである。

地域別 業界の景況感に関する指標(一般貨物)



④ 事業形態別 (注8)

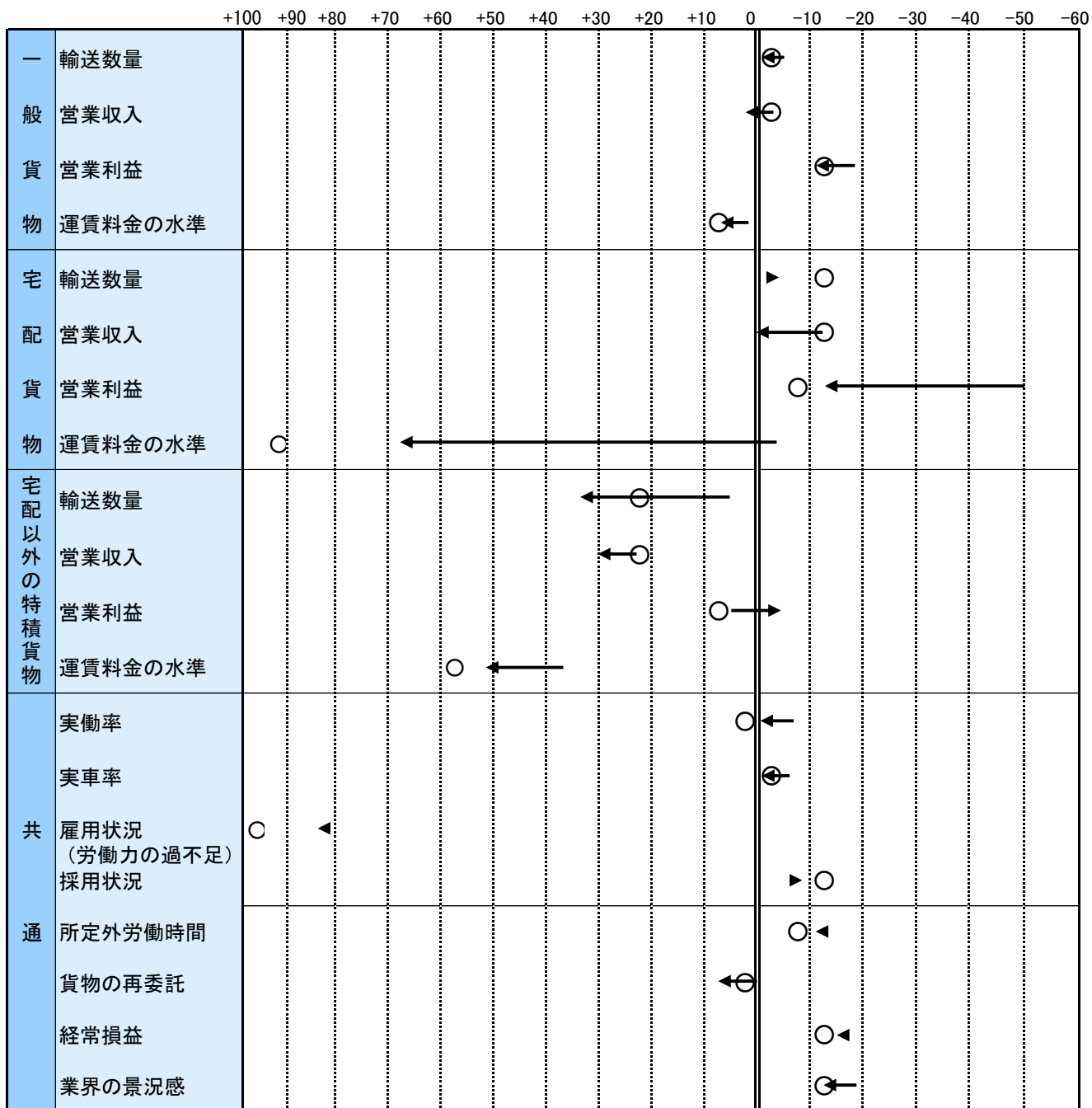
・「宅配貨物」は、実働率と実車率(輸送効率)が改善したことで、経常損益が改善した。来期は労働力の不足感がやや強まるとの見通しを示している。
 ・今回の景況感は、「一般貨物」と「宅配貨物」において水準を上げている。来期見通しは「一般貨物」は水準を下げるものの、「宅配貨物」と「宅配以外」は水準を上げる見通しである。



(注7) 地域分類は地方運輸局管轄地域区分に基づく。なお、グラフは一般貨物の事業者のみ集計している。

(注8) 事業形態の分類は、「一般貨物」及び「宅配貨物」「宅配以外の特積貨物」である。

7. 業況判断指標の前回調査（平成29年4月～6月期）からの変化

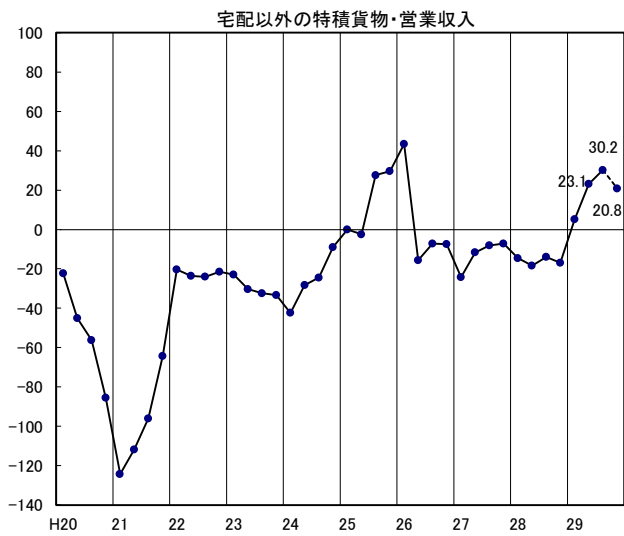
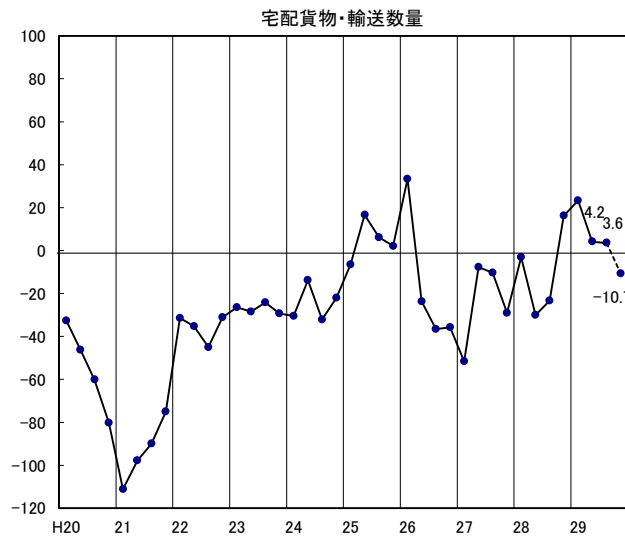
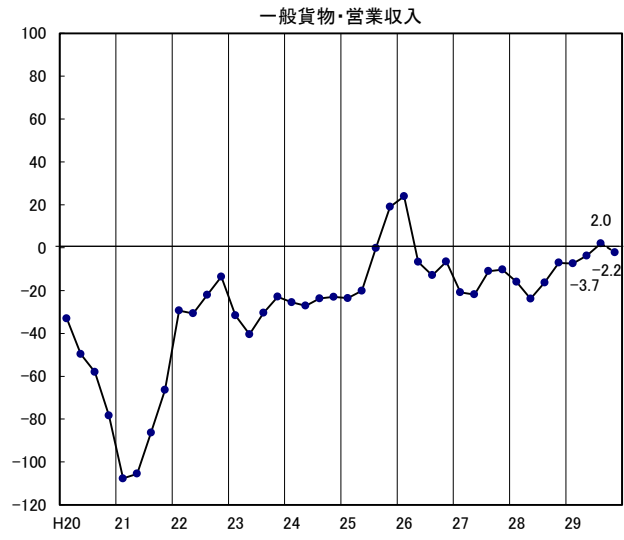
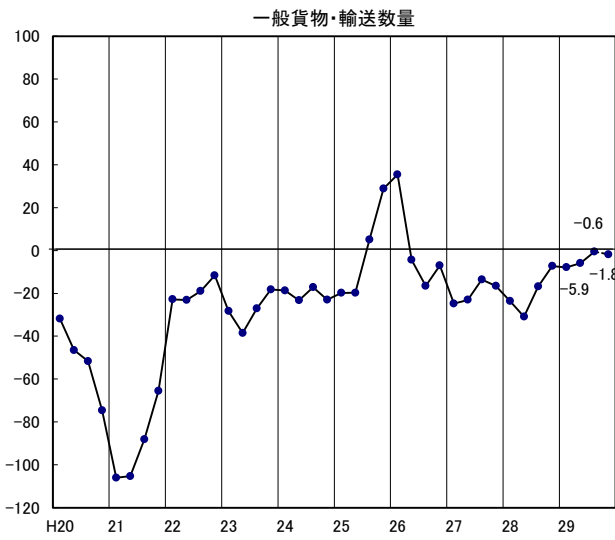


凡例

矢元 :	矢先 :	白丸 :
4-6月期の実績	7-9月期の実績	10-12月期の見通

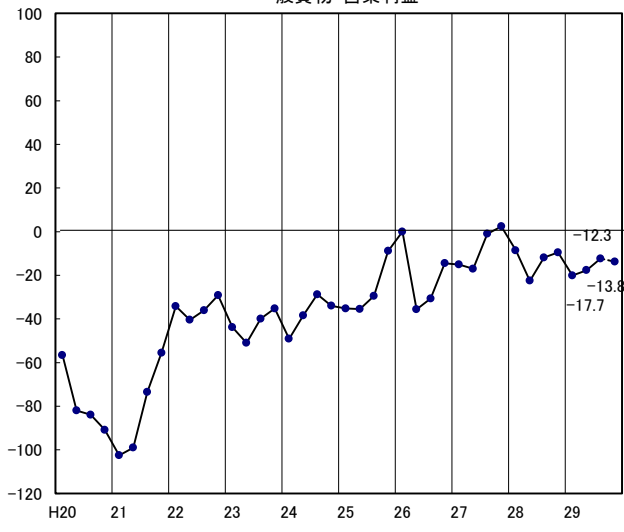
8. 業況判断指標の推移

平成20年～平成29年第4四半期見通し

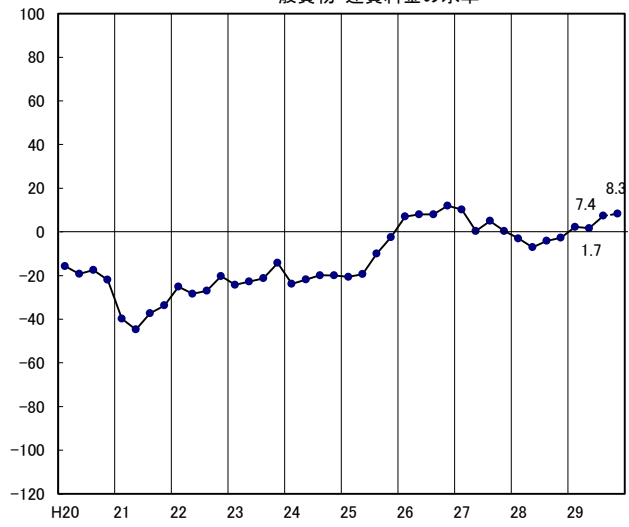


平成20年～平成29年第4四半期見通し

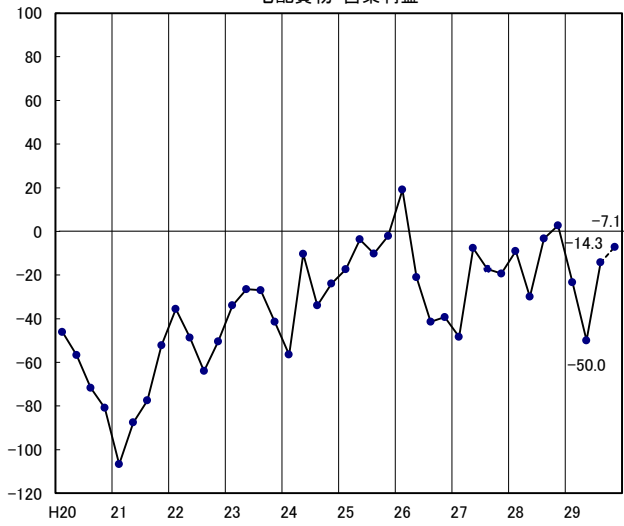
一般貨物・営業利益



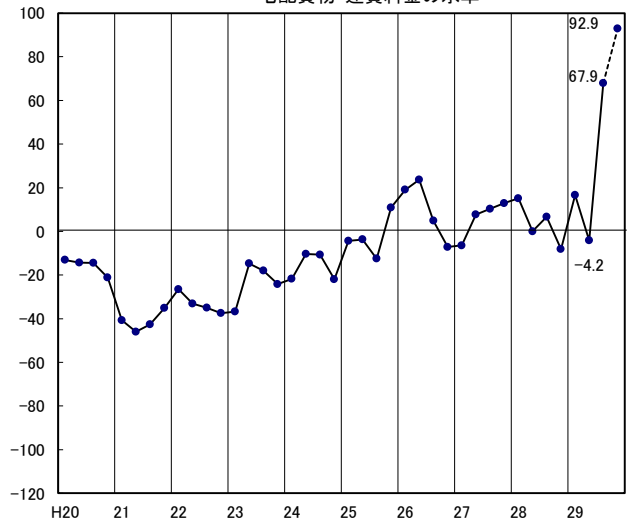
一般貨物・運賃料金の水準



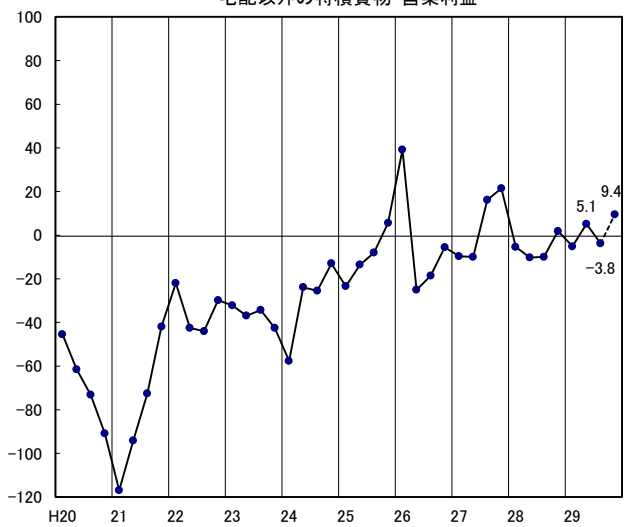
宅配貨物・営業利益



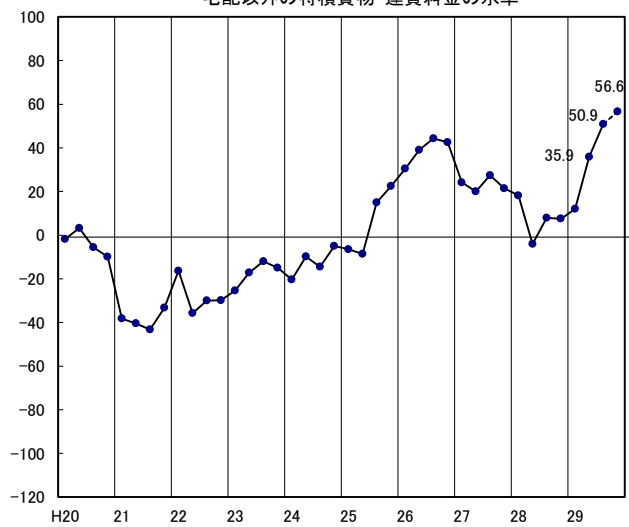
宅配貨物・運賃料金の水準



宅配以外の特積貨物・営業利益

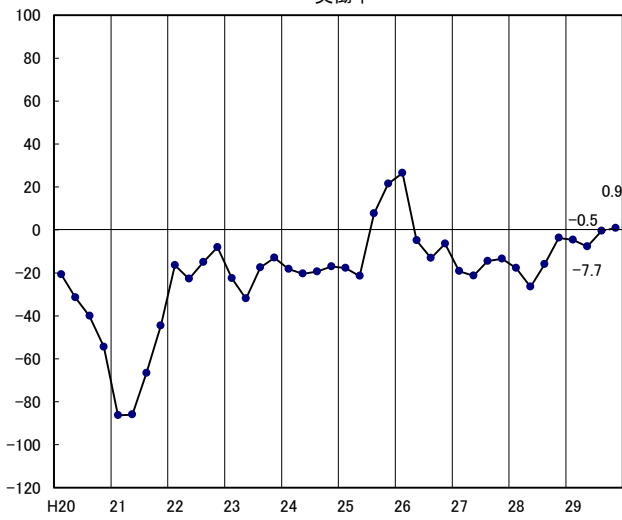


宅配以外の特積貨物・運賃料金の水準

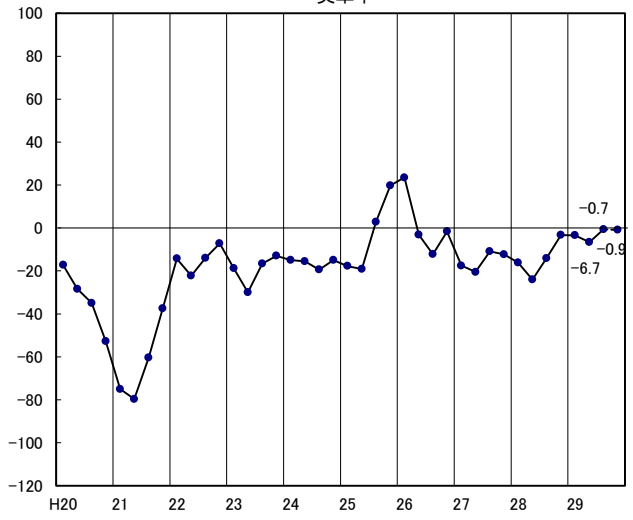


平成20年～平成29年第4四半期見通し

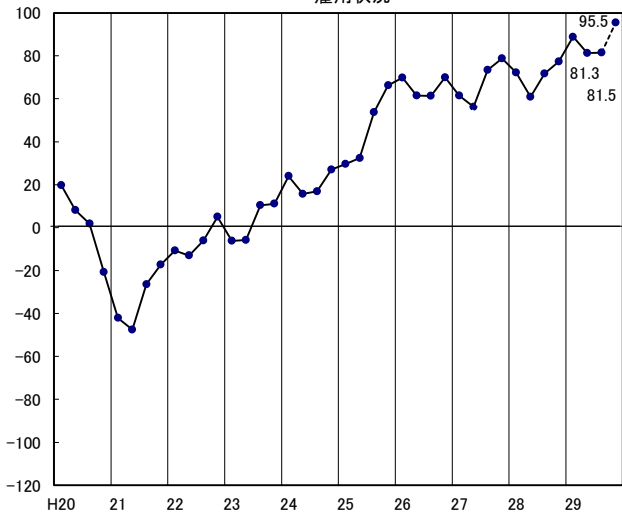
実働率



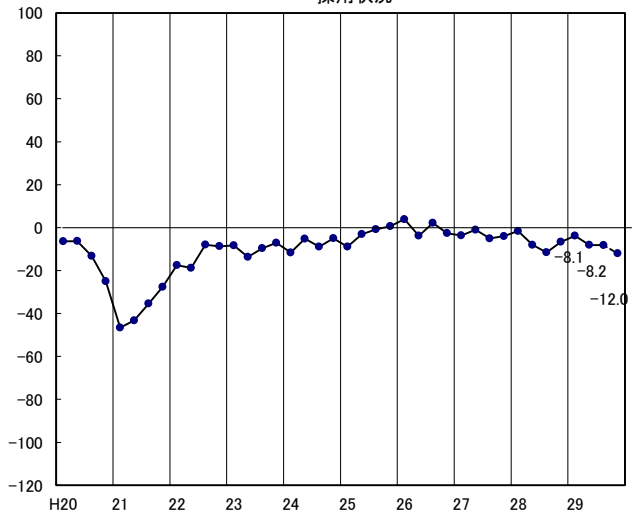
実車率



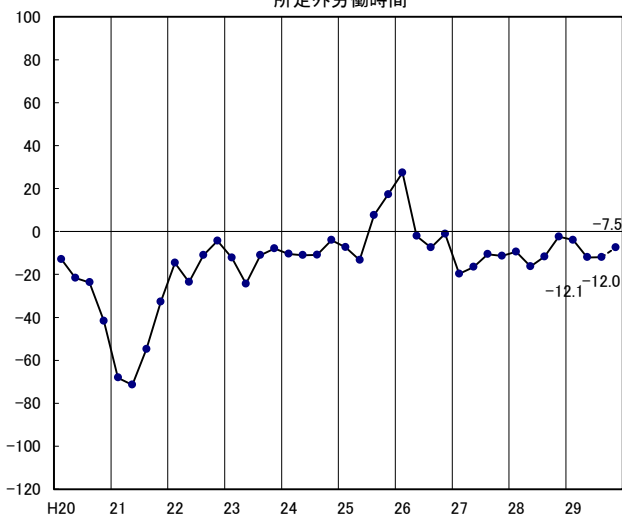
雇用状況



採用状況

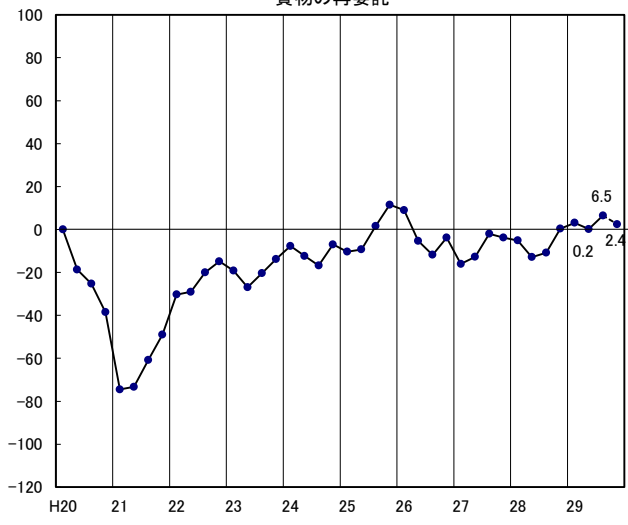


所定外労働時間

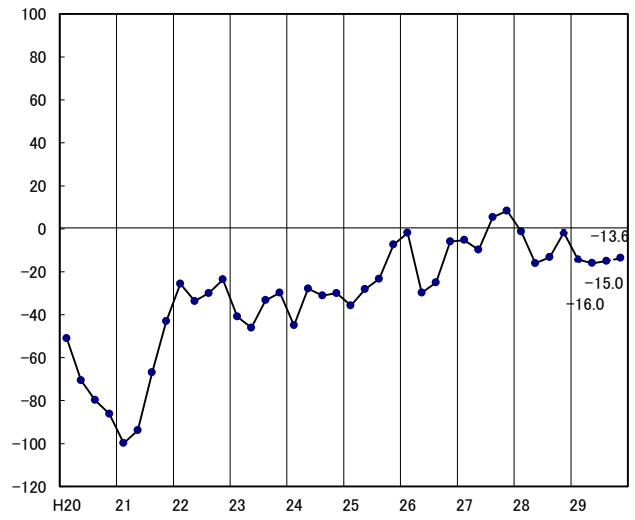


平成20年～平成29年第4四半期見通し

貨物の再委託



経常損益



業界の景況感

